

2019年度 印西市・八街市・栄町・酒々井町 放送番組審議会

日時： 2020年1月28日（火）11:00-13:30

場所： 広域高速ネット二九六 通信技術センター会議室

出席者：番組審議委員および弊社役員・社員 12名

■出席委員

大木 弘 委員	印西市教育委員会 教育長
大谷 文男 委員	酒々井町商工会 会長
加曾利 佳信 委員	八街市教育委員会 教育長
木村 俊幸 委員	酒々井町教育委員会 教育長
柴崎 達夫 委員	印西市商工会 会長
藤ヶ崎 功 委員	栄町教育委員会 教育長
安永 順子 委員	ボランティアグループ「けやきの会」代表

(伊藤 武雄 委員

八街商工会議所 専務理事 欠席)

■株式会社広域高速ネット二九六 出席者

藤本 光弘	代表取締役社長
伊藤 完	常務取締役営業本部本部長
片岡 保典	取締役技術本部本部長
柴倉 宏行	営業本部副本部長
藤本 健太郎	営業本部放送制作部部長

番組審議

■<大木 弘 委員 印西市教育委員会 教育長>

「ケーブルネット 296 ゆるすぽフェス」ですが、印西市でも高齢者が増えてきて今後も増え続けるということから印西市長自ら「健康貯金運動」を提唱して、様々な形でスポーツ推進・体力向上に取り組んでいます。しかし、若い頃からスポーツに親しんでなかった方は急にスポーツをやることに抵抗があるようです。御社で紹介された「ゆるスポーツ」のような軽スポーツであれば取り組みやすいということで、大変良い番組だと思います。

台風の放送ですが、生の記録映像は貴重だということを感じました。市役所においてNHK等のニュース番組を見たのですが、今日見せていただいた映像はまた民放等の映像と違うなという風を感じたので貴重だと思っています。今後も続けてほしいです。民放のニュース番組では、風雨にさらされながら吹き飛ばされそうになりながらリポーターが話していて、疑問に思います。そのように生々しい映像を撮るために危険を冒すことはないと思います。

新番組の「NEXTEP」については、空き家が増える理由・現状・行政の動き・様々な活用の工夫、解決はできないまでも少しでも良い方向に持っていくという筋道がわかるような良い番組だと思います。番組を見て朽ちる前に、特定空き家になる前に活用できる方法を模索していくことが大事だと思いました。大変良い勉強となりました。住める状態のうちに住んでもらう、事務所として使ってもらおうということが大事だとわかりました。また、利便性も大切です。利便性の良いところの空き家では活用できるし、そうでないところは別の仕組みを考えていくしかないのかなと思いました。番組を見て何かヒントをもらって、空き家がなくなる取り組みをできるような考えを持つ方が増えてほしいと思いました。ぜひ多くの人に見てもらいたいです。

■<大谷 文男 委員 酒々井町商工会 会長>

「ケーブルネット 296 ゆるすぽフェス」に関しては、もう少し変化させると生涯スポーツにできるのではというアイデアを頂戴しました。こういうスポーツを広く広報することも大事だと思います。体のどこかが悪くなると、動かなくなってしまうことが多くなり「治したらやろう」と思いますが、なかなかその先に行けない。少しでも動くためにどうすれば良いかを考えさせられました。

台風の報道については、今回の3つの台風被害で、概ね被害の種類や場所が想定できたと思います。佐倉では亡くなった方もいました。WEBカメラで情報発信していただければ、ドライバーも迂回することができて被害の回避にもつながるのではないかなと思っております。台風の情報は発信してもらえたらありがたいと思います。

新番組の「NEXTEP」については、自身の経験からも、慣れ親しんだ建物を壊しづらいということもありますが、将来のビジョンを立てて行かなくてはならないなあと考えさせられました。空き家対策は各自治体でもかなり苦勞されていると思いますが地域が提案をして事業性を持たせられること等を含めて解決していかなくてははいけません。商工会現場

としても、何かそこにアイデアを提案できれば良いなと考えさせられる良い番組だったと思います。

■<加曾利 佳信 委員 八街市教育委員会 教育長>

提言的な番組は非常に意義が大きいかと思います。最近は受け身になる番組が多いのですが、このように番組から提言を頂いて自分なりに消化して考える「考えさせられる」番組を見させてもらってやはり大事だと思います。私自身も空き家の問題に打つ手がなくて、今日まで考えてきたのですが、番組を見て「動かなくてはいけない」とそのヒントも頂きました。これは提言的な番組の成果だと思います。これからもこういう番組を期待したいと思います。

■<木村 俊幸 委員 酒々井町教育委員会 教育長>

「ケーブルネット 296 ゆるすぽフェス」に関しては、この参加者の皆さんは楽しんでいただいていると思います。小中学生を所管している立場では複雑な思いがあります。「ゆるスポ」を振興させていこうという目的はあると思いますが、小中学生にとってこのスポーツが適切な運動になるかという疑問があります。小中学生は発育段階にあるので、この「ゆるスポ」がそれに見合ったスポーツかという疑問があります。レクリエーションとしてなら話は別ですが、これをどういう目的で広げていくのかということが分かりにくかったというのが率直な受け止め方でした。取り組みは素晴らしいと思います。

台風の被害状況に関する番組ですが、地元の取材が中心で見た人に強いインパクトを与えたと思います。子供たちにも強いインパクトを与えたのではないかと思います。

最後に新番組の「NEXTSTEP」ですが、大変素晴らしい企画だったと思います。空き家問題解決のための有効な対策をご紹介いただきました。なるほどと思わせる内容でした。気になったのは「持ち主がしっかりしていれば」や、「所有者の意識が大切」という言葉がありましたが、意識がしっかりしていれば空き家問題は出てこないものです。行政の責任はどこまで立ち入れるのかと考えさせられました。

■<柴崎 達夫 委員 印西市商工会 会長>

「ケーブルネット 296 ゆるすぽフェス」に関しては、皆さんが楽しんでいるのはわかるのですが、視聴者として見ていて楽しいのだろうかという気がしました。家族や当事者の方は楽しいと思いますが、スポーツとして長時間見ているのは少し難しいという感想を持ちました。

「災害放送」についてですが、印西市はさほど被害がなかったのですが、すぐ隣の利根川の水位が上がりました。増水のピークは1日後～2日後くらいになります。一般の方には情報が少ないです。私はすぐ近くの利根川を見に行ったり、市の災害情報開示のネットを見たりしたのですが、非常に情報を得るのが難しい。NHKさんは地域的な情報はやっ

ない中、296さんでは放送していた。でも、次はこの情報をテレビでやっていることを一般の方に知ってもらい、見てもらえるかが大事になってきます。私もこうした情報をこまめに296さんで見るということをしなかった。できれば行政と連携して296の災害放送を一般の方にPRするという。印西市は避難準備という警報が出ました。利根川の近くの高齢者の方は町内会の役員の方が避難誘導を手伝ったということがありました。もう少し296でこうした素晴らしい放送を行っていることを一般の方に知ってもらおうと思います。

新番組の「NEXTEP」についてです。印西市でも2面性がある、ニュータウン地域は人口が増えていて、旧市街は空き店舗や空き家が増えています。商工会としては空き店舗対策として家賃の補助をしたり創業支援や、市内の空き店舗を使って…といった対策もしています。少しずつ効果はありますが、空き家対策については市の方もまだ取り組みを行っていないように思います。市町村でこのような取り組みをしているということ、市民または行政の方で番組を見ればわかったと思います。やるべきことがわかれば所有者や行政が互いに管理や修理を求めるのではなく、このようにやれば上手くいくのではないかという提案型の関係を築けるのではないかと思います。こういう番組を皆さんに見てもらいたい。

■<藤ヶ崎 功 委員 栄町教育委員会 教育長>

ゲリラ豪雨で車が水没してしまったという経験があります。今日の映像で田町車庫が水没しているところを初めて見ました。NHKや民放でもバスの車庫が水没しているという情報は入っていましたが、映像として初めて見ました。山武杉が倒れているところの映像も初めて見ました。NHKや民放は県内という一番酷いところをやったり、入れそうなどころの映像が配信されたと思います。千葉テレビでもこのような映像は見えていませんし、地域の情報をお届けする296さんの努力の賜物だと思い感激したところです。こうした特別番組を流していること素晴らしいと思いました。

新番組の「NEXTEP」ですが、空き家対策は現代的な課題への鋭意な取り組みで視聴者に大いなる啓発をされたということで、制作者サイドの意欲が伝わってくる番組だと思いました。

■<安永 順子 委員 ボランティアグループ「けやきの会」代表>

このように素晴らしい番組を見せていただいて非常に感動しています。

「ケーブルネット296 ゆるすぽフェス」に関しては、見ながらつい笑ってしまいました。こういうスポーツの楽しみ方もあるんだということですね。道具がなくては出来ないかもしれないけどそれに見合ったものを自分たちで考えてやれるのかなという気もしております。今の世の中、家庭の中でもスマホの社会になってきております。ご飯食べる時もスマホをいじったりして、会話のない食卓が多くなってきています。このような番組を見ながらケラケラ笑って皆で会話をしながら食事をできたり、食後も家族みんなで会話できるということは素晴らしいと思います。やる・やらないは別にして、石を投げてくれたのかなと思

います。

「災害放送」についてですが、こんなに身近な映像を見せてもらえるとは思いませんでした。どうしても中央の放送になると大きな被害の水没とか倒木とかそうした映像がほとんどですが、(296ではローカルの)車庫が水没したりする映像を放送していました。こんなに身近に災害の恐ろしさを感じたことは初めてでした。

新番組の「NEXTEP」についてです。栄町も高齢化率が40%くらいになっています。移り住んで40年程になりますが、周りは老夫婦か空き家ばかりです。かなりの空き家があります。不動産屋さんを仲介している方は、時々風を入れに来たり、見に来たりしているがそのままの家もかなりあります。庭の草は伸び放題。ハクビシンの住処になっているというような話を聞きます。中には朽ち果てて今にも壊れそうな家もあります。役場に聞くと所有者が不明で勝手には取り壊すこともできないという状況です。こういう番組を作って頂いて発信してもらえたら、今後の対応のヒントになるのではないかと思います。

素晴らしい番組でした。